

## 報道各位

「アパレルメーカー参加型の地球温暖化対策プロジェクト」

# Fashion Earth PROJECT が始動

—企業の環境アクションと生活者の購入アクションが連動しCO<sub>2</sub>削減活動に貢献—

地球温暖化が進み、ファッショングの彩りを演出する日本の四季が“あいまい”になろうとしている現在、環境保全の取組みはアパレル業界全体の課題となっています。そうした中、アパレル業界、メーカー各社に強い繋がりを持つ伊藤忠商事株式会社（東京都港区北青山）と環境コミュニケーション分野において実績を持つ株式会社博報堂DYメディアパートナーズ（東京都港区赤坂）は、2010年4月9日、協働でファッショングをテーマにした地球温暖化対策プロジェクト「Fashion Earth PROJECT（ファッションアースプロジェクト）」（以下FEPとする）をファッショング業界各団体の協力の下、経済産業省製造産業局繊維課からも賛同を得てスタート致します。

本プロジェクトは各アパレルメーカーと連動して環境保全に貢献する場を共に創ることを第一の目的としております。各メーカーは本プロジェクトに参加することで国際連合が認証するCO<sub>2</sub>削減プロジェクトを通じて地球温暖化防止への貢献ができます。また、生活者は、本プロジェクトの下げ札付き商品（後述概要を参照）を購入することで自らの態度を表明し、企業の環境保全活動を後押しすることとなり、企業と生活者、それぞれのアクションの連動が、このプロジェクトの発展のカギを握ると見込んでおります。

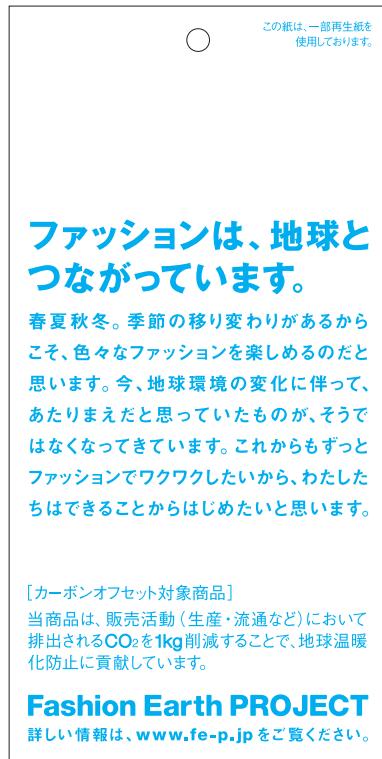
既にイトキン株式会社、ビッグボーン商事株式会社、株式会社ボンマックス、株式会社レナウン、株式会社ワールド（敬称略、五十音順）の企業5社がプロジェクトへの参加を表明しており、今後も地域・規模・業種を問わず幅広くアパレルメーカーの参加を呼びかけ、環境保全の取組みを業界全体に広め、地球温暖化防止への貢献を目指します。またプロジェクトの維持発展に向か、多くの生活者にもFEPメッセージ付き下げ札や、ホームページなどを通じて地球温暖化などの問題をわかりやすく伝え、問題に対する啓発を進めて参ります。



(表面) ※下げ札表面の色はスカイブルーと白の2色。



(表面)



(裏面)

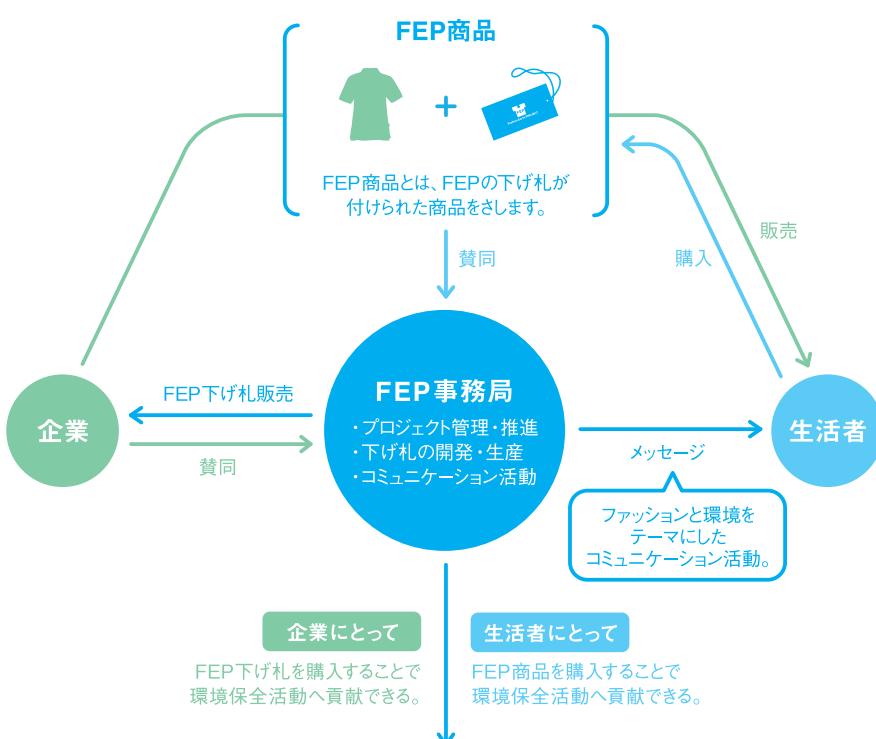


## FEPプロジェクト内容

- 参加企業は事務局から本プロジェクトのロゴが入った1枚10円相当の商品下げ札（以下「FEP 下げ札」と呼ぶ）を購入し、衣類商品に取り付け店頭で販売する。
- 事務局は参加企業のFEP下げ札購入費からFEP下げ札制作費、事務局運営費を差し引いた金額（全体の約3割）を環境保全活動に還元する。
- 生活者には店頭で、FEP下げ札に記載された環境保全のメッセージを目にして頂く事で地球温暖化防止について考えていただく。  
また、商品を購入する事がFEPの支持に繋がる。
- 環境保全活動に還元される金額や使用用途、生活者に対するメッセージはプロジェクトのホームページ上で公開し、生活者の理解を深めていく。
- 以上、活動を伊藤忠商事と博報堂DYメディアパートナーズが協働でプロジェクト事務局を開設し運営管理を行う。

## FEPプロジェクト構成図

# Fashion Earth PROJECT プロジェクトの流れ



## 環境保全へのアクション！

費用の一部が、国連が認証するCO<sub>2</sub>削減事業を支援するために使われます。

## FEPの資金活用目的

環境保全、生物多様性の維持、文化保全などファッショントを楽しむ事に関わる地球温暖化対策に資金を活用することを方針とする。

## FEPの初年度目標

年間で2万tのCO<sub>2</sub>削減を目指す。

これは、東京ドーム3,344個分の広さの森が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>とほぼ同じである。(天然ブナの森を想定。林野庁公表値を元に推計。)

## プロジェクトスタート時の環境アクション施策

【内容】国際連合が認証するCO<sub>2</sub>削減プロジェクト(\*1)におけるCO<sub>2</sub>削減活動を間接的に支援する。

(\*1) インド共和国 タミルナドゥ紡績協会風力発電プロジェクト(国連参考番号:0991)、Aleo Mnali3水力発電プロジェクト(国連参考番号:0244)

【目的】京都議定書における日本国温室効果ガス削減目標(1990年比マイナス6%)の達成に貢献するとともに、  
発展途上国における経済発展にも貢献する。

【具体的流れ】CO<sub>2</sub>削減プロジェクトによって創出されたCO<sub>2</sub>削減クレジットを、FEPによって集められた資金の一部を用いて調達する。

そのCO<sub>2</sub>削減量を日本国に譲渡する(日本国政府の償却口座に移転する)ことで日本国の削減目標達成に貢献する。

カーボンオフセットの手続きについては、環境省のあんしんプロバイダー制度参加企業である株式会社リサイクルワンが実施する。

※今後、新たに行う環境保全活動は事務局内で適宜協議し決定する。※その他詳細については、FEPホームページに記載。

## FEP運営体制

【主催】Fashion Earth PROJECT事務局 【協力】株式会社大阪繊維リソースセンター

【運営主体】伊藤忠商事株式会社、株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

## プロジェクトスタート時の参加企業、ブランド一覧(順次開始予定)

### 【イトキン株式会社(全20ブランド)】

AFFAIRE D'HOMMES、a.v.v.、CHRISTIAN AUJARD、CHRISTIAN AUJARD LIBERTE'、courreges、ELLE、ELLE PLANETE、ESPIE、eur3、FRANCO FERRARO GEORGES RECH、GIANNI LO GIUDICE、iiMK、KLEIN PLUS、MICHEL KLEIN、MICHEL KLEIN HOMME、MK MICHEL KLEIN、MK MICHEL KLEIN HOMME、OFUON、Sybilla

### 【ピックボーン商事株式会社】

### 【株式会社ポンマックス】

### 【株式会社レナウン(全2ブランド)】

FILA、SIMPLE LIFE

### 【株式会社ワールド】

## 事務局概要

【所在】東京都港区北青山2-5-1 Fashion Earth PROJECT事務局

- |      |                        |                              |
|------|------------------------|------------------------------|
| 【役割】 | ①企画全体の運営と資金管理          | ④資金活用先の検討と成果管理               |
|      | ②アパレルメーカー・ブランドへの参加推進業務 | ⑤生活者とコミュニケーションを深める企画の実施      |
|      | ③FEP下げ札の生産、管理          | ⑥参加企業と共同で取組む環境保全プロジェクトの企画・実施 |

## FEPホームページ

【URL】<http://www.fe-p.jp>

【特徴】①生活者へのメッセージをわかりやすく発信する ②プロジェクトが貢献したCO<sub>2</sub>削減量の公開 ③アパレルメーカーへの参加呼び掛けと受付

## プロジェクト参加希望の企業問い合わせ先

info@fe-p.jp (Fashion Earth PROJECT事務局)

